

アリアンスペース社
ジャンイヴ・ルガル CEO



ルガルCEO略歴

- 1959年4月 フランス、マルセーユに生まれる。
- 1981年 光学工科大学[グランゼコール]卒業
- 1983年 南パリ大学にて工学博士号を取得
- 1981年 フランス国立科学センターにて天文学研究者として欧州科学衛星 Hipparcos およびISO プロジェクトに従事
- 1985年 フランス産業総局に入り、宇宙産業関係業務に従事
- 1988年 仏郵政通信宇宙大臣の任命で宇宙関係アドバイザーに就任。CNES, ESAの企画立案に参加
- 1993年 CNESの子会社ノヴェスパス社の社長に就任
- 1996年 CNES副理事長、ESAフランス代表に就任
- 1998年 Starsem社会長兼CEOに就任
- 2001年 アリアンスペース社COOに就任
- 2002年 アリアンスペース社CEOに就任

本日はお忙しいところをスペース・ジャパン・レビュー誌のインタビューに応じて頂き有難うございました。

最初に、御社が精力的に取り組んでこられている、アリアン5型の信頼性向上計画の最新の状況についてお伺いしたいのですが。

ルガル：今年私共は、将来へ向けての中心機種であるアリアン5 - E C Aの打ち上げ再開に全力を注いできました。現在のところ2004年の打ち上げへ向けて着々と準備を進めています。

さらに、アリアン5Gについては広汎なレビューを完了しており、いくつかのシリーズに及ぶ品質管理基準の追加も実施しました。この結果は、今年すでに3回連続成功したアリアン5の打ち上げ成果から明らかだと思います。

アリアンスペース社が、厳しい競争にさらされている衛星打ち上げ業界の中で、現在のトップの地位を確保するために、もっとも大きな課題は何だとお考えですか。

ルガル：私にとっての最大の課題は、コストを低減し、作業プロセスを有効な流れとし、効率を向上させ、しかも我々が今まで高い評価を得ている品質と顧客サービスを維持できるように、アリアンスペース社の組織構造を改革することです。この努力は着々と進行しておりまして、2004年からはこの結果として、わが社の組織構造の競争力が全面的に強化されるという形になって表われてくるものと考えています。



工場で作業中のエクイブメント・ベイ

今後のアリアンスペース社のビジネス戦略において、米国と日本の打ち上げ事業者との提携契約は、どの程度の重要性を持つものでしょうか。

ルガル：多くの顧客は新しいアプローチを求めておられますが、私共はこれに対して、顧客が必要とし顧客が当然提供されるべき、柔軟性、信頼性やミッションの確実性といったものを、革新的な方法で用意するという形でお応えしたわけです。

さらに、ボーイングと三菱重工との連合は、そもそも顧客の要求に応じてできたものですので、今後の新規受注の提案の場合にも、このチームングが重要な役割を果たす商談が出てくると考えております。



フライト中のECAステージ

日本は現在までアリアンスペース社にとって、明らかに顧客として重要な国のひとつです。今後どのようにして日本での地位を守ってゆかれますか。また、どのような方法をとれば、日本の顧客のニーズを十分に満足させてゆくことができるとお考えですか。

ルガル：日本はアリアンスペースにとって非常に重要であり、私共はこの重要さの認識を、日本に特化した顧客サービスの実行という形でお示してきました。私共は日本の顧客のニーズに的確に応じられるような機能を備えた東京事務所を置いているだけでなく、私自身を含めマネジメントチームの多数のシニアメンバーが、日本の顧客と面談するために、定期的に日本を訪問するというを実行しています。

もっとも大事なことは、顧客が日本、欧州、アフリカ、アメリカ、その他世界中のどこにおられようと、私共は顧客のお話を聞き、ニーズを理解し、要求されるものを納入しているということなのです。

世界の衛星業界および打上げ業界の回復状況が、2004年から2005年にかけてどのようになってゆくかについて、最新の見通しをお聞かせ下さい。

ルガル： 私共は衛星マーケットに、特に衛星の新規製造発注の増加という点で、市況の改善を見始めています。これは数年のうちに打上げマーケットの状況改善という形で現れてくる筈です。

私は衛星サービスとそれに対応した衛星の需要は、継続的に成長してゆくと考えており、1990年代に予想されたような高さには決して達しないまでも、最近数年のようなレベルよりは高いところで間違いなく安定的になるだろうと見ております。

—最後にお伺いしたいのですが、仕事を離れた余暇にはどのようにお過ごしですか。

ルガル： 私は旅行やスポーツで家族と一緒に過ごしてエンジョイしています。

本日は有難うございました。

(インタビュー担当：本誌 植田剛夫)



ルガル社長 アリアンスペース社本社にて